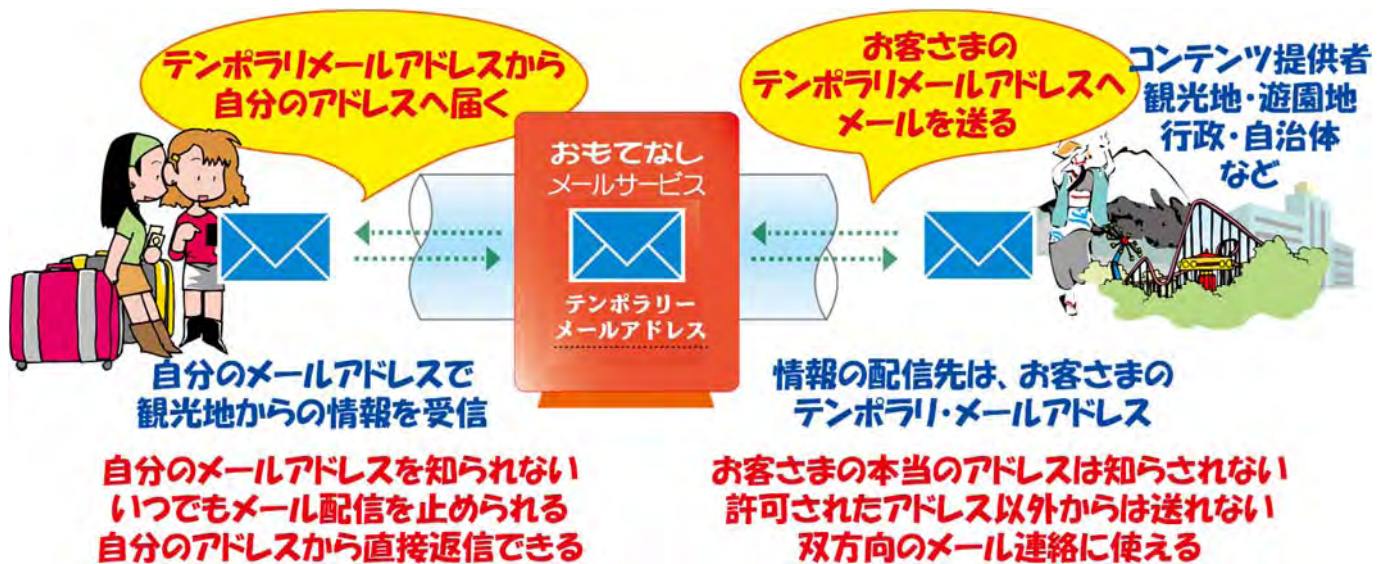


おもてなしメールサービスとは

観光地を訪れる旅行者に向けて、メールを利用した情報サービスを提供する為のシステム基盤です

【特徴】

- ・お客さま(旅行者)のメールアドレスを秘匿化して情報漏えいを防ぐ…テンポラリー・メールアドレス
- ・お客さまとコンテンツ提供者(観光地)の間にメールを使ったホットラインを作り出す
- ・お客さまのメールアドレスとつながるテンポラリー・メールアドレスは、コンテンツ提供者(観光地)のアドレス以外からは使えない安全な双方向の連絡手段
- ・旅行前の事前調査から旅行終了までの期間限定のサービス利用に最適…一見さん Welcome !
- ・旅行期間中だけ知らなければならぬ情報の周知に利用…防災情報…旅行を終えたら用済み
- ・海外から訪れる旅行客向けの情報配信…多言語…登録の敷居の低さで気軽にエントリー



■ 既存のメール配信サービスを利用した場合の課題

- ・お客さまのメールアドレスが配信先としてコンテンツ提供者側にわたる為、情報漏えいの危惧がある
- ・漏れたメールアドレスへ迷惑メールが届くようになる…気が付くとスパムだらけ
- 漏れてしまったメールアドレスは、取り返しがつかない、漏れなかったことには絶対にできない
- フリーメールなど使い捨てアドレスの利用で回避もできるが…手間が掛かり登録のハードルは高い

■ おもてなしメールサービスによる解決

- ・お客さまのメールアドレスは秘匿化され、テンポラリー・メールアドレスを通してコンテンツが転送される
- ・テンポラリー・メールアドレスへメールを送信できるのは、許可されたコンテンツ提供者のメールアドレスに限定される
- コンテンツ提供者はお客さまのメールアドレスを持たないので、お客さまのメールアドレスは守られる
- テンポラリー・メールアドレスへは部外者からメールを送れないので、迷惑メールが届くことはない

■ おもてなしメールサービスを利用することによる効果

おもてなしメールサービスは、

- ① 利用開始(メールアドレス登録)のハードルが低い…お客さまメールアドレスの秘匿化…知られない
 - ② コンテンツ提供者以外からメールは届かない…部外者が勝手に迷惑なメールを送れない
 - ③ いつでも止められる…サービスからの退会はおもてなしメールサービスで手続き…完全利用者主導
- 簡単に始められて、簡単に止められる、コンテンツ提供者の介入なし

初めて訪れる地で、頼りになるのはホームページやメール配信などのサービスです。

おもてなしメールサービスは、利用者が気軽に利用を開始でき、不要となった場合にいつでも止められるメールサービスを提供します。

利用者個人のメールアドレスが守られることで、観光地が提供する情報サービスへの登録促進効果が期待できます。

■ おもてなしメールサービスに期待できる点

震災や火山の噴火など予測するのが困難な災害に遭遇するケースを想定して、特に海外から日本へ訪れる外国人観光客に向けて、訪問地域の防災情報を発信することは観光地の重要な使命です。

メール配信サービスを利用して、訪問先の観光地の行政組織が防災情報を配信するサービスを提供することで、多くの外国人旅行者に情報を発信することが出来ます。しかし、既存のメール配信サービスでは、短期間しか滞在しない旅行の為に、訪問客がメールアドレスを登録することへのハードルは高く、また、一度登録したメールアドレスがいつまでも登録されたままの状態になり、延々と無駄な情報が垂れ流しになることも問題となります。

この様なケースで、おもてなしメールサービスは最良の選択肢となります。

旅行者のメールアドレスは秘匿されてコンテンツ配信先へ提供され、迷惑メールなどからも守られます。そして、旅を終え帰国すれば配信が自動的に停止する様に、あらかじめ利用期限を設定できます。

日本の観光地を訪れる外国人訪問者に対して、負担なく気軽に安心を提供できるのがおもてなしメールサービスになります。

訪問先へ到着したら地域の情報配信サービスへ登録して、観光情報と一緒に防災情報も入手できるようなサービスが考えられます。外国人向けに多言語でのサービスも重要となります。

それらのシステム構築において、お客さまと観光地を結ぶメールを使った情報流通システムの基盤の一部となるのが、おもてなしメールサービスです。

おもてなしメールサービスは、メールアドレスの仮想化技術（SafetyAnswer セイフティ・アンサー）により支えられています。

おもてなしメールサービスの特徴

1. お客さま一人一人に提供されるテンポラリー・メールアドレス

- ① お客さまは、**自分専用のテンポラリー・メールアドレス**を通して、コンテンツ配信者の提供する情報サービスを受けます。
- ② コンテンツ配信者へは、**お客さまの本当のメールアドレスは知らされません**。
- ③ テンポラリー・メールアドレスは、お客さまの意思でいつでも削除することができ、**有効期間を設定して計画的に利用**することもできます。
- ④ テンポラリー・メールアドレスを削除すれば、コンテンツの配信は完全に止まります。
- ⑤ テンポラリー・メールアドレスを利用するにあたり、追加でメール設定などをする必要はありません。普段利用している自分のメールアドレスを使ってテンポラリー・メールアドレスを通じて情報を受け渡します。

2. テンポラリー・メールアドレスはお客さまとつながるホットライン

- ① テンポラリー・メールアドレスを使うと**双方向でメールを送受信**できます。お客さまはコンテンツ配信者と一対一の関係で連絡を取り合えます。
- ② テンポラリー・メールアドレスへメールを送信できるのは、コンテンツ配信者の**予め許可されたメールアドレス**だけです。
- ③ テンポラリー・メールアドレスが第三者へ漏えいしても、**メールを送信することはできない**為、悪用される心配はありません。

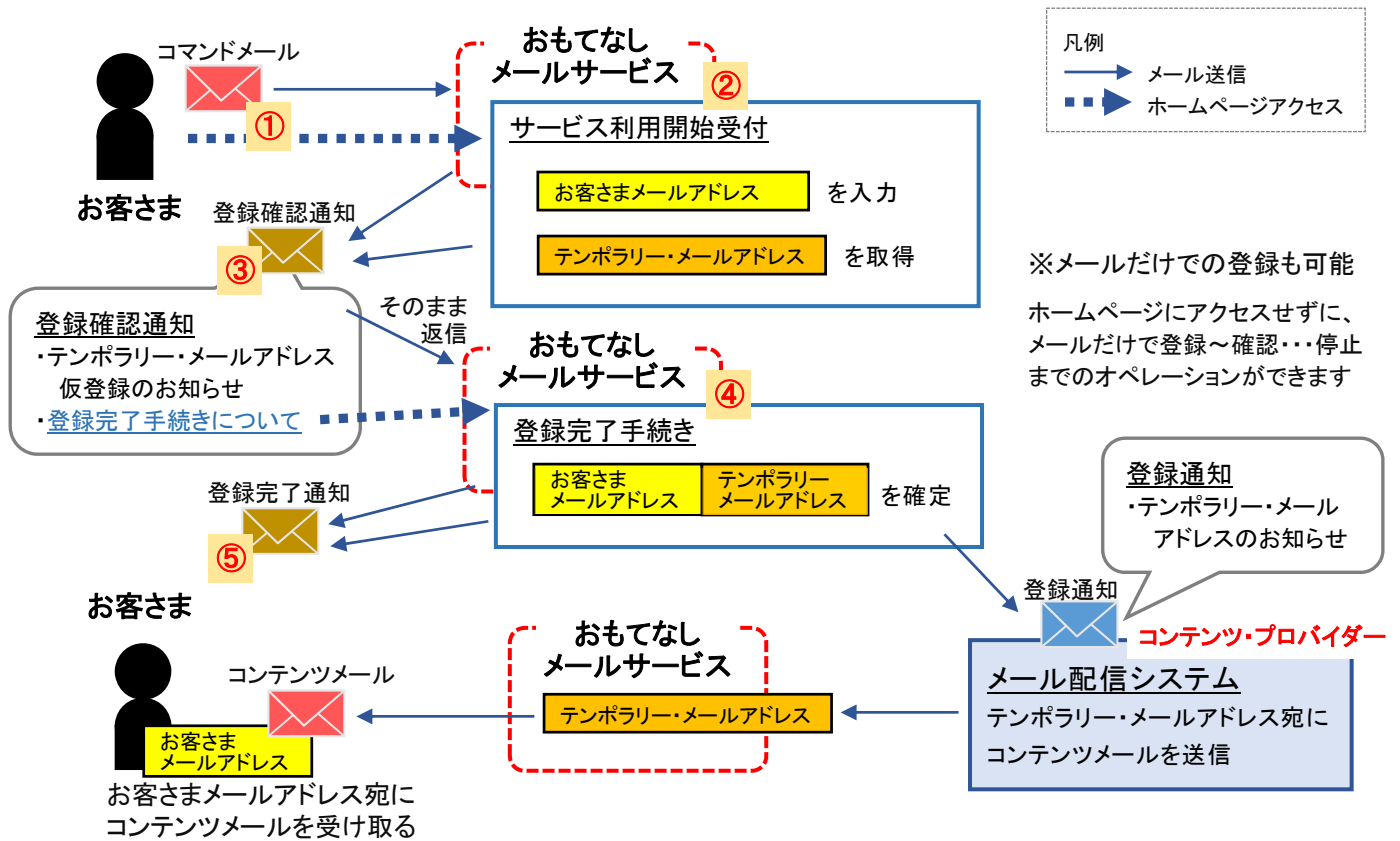
3. お客さまのメールアドレスは守られる

- ① コンテンツ配信者からお客さまのメールアドレスが漏えいする心配はありません。コンテンツ配信者の情報システム上に、お客さまのメールアドレスは保管されません。
- ② テンポラリー・メールアドレスを通して迷惑メールが届く心配はありません。テンポラリー・メールアドレスは、許可されたコンテンツ配信者が発信するメールだけを受け付けてお客さまのメールアドレスへメールを転送します。

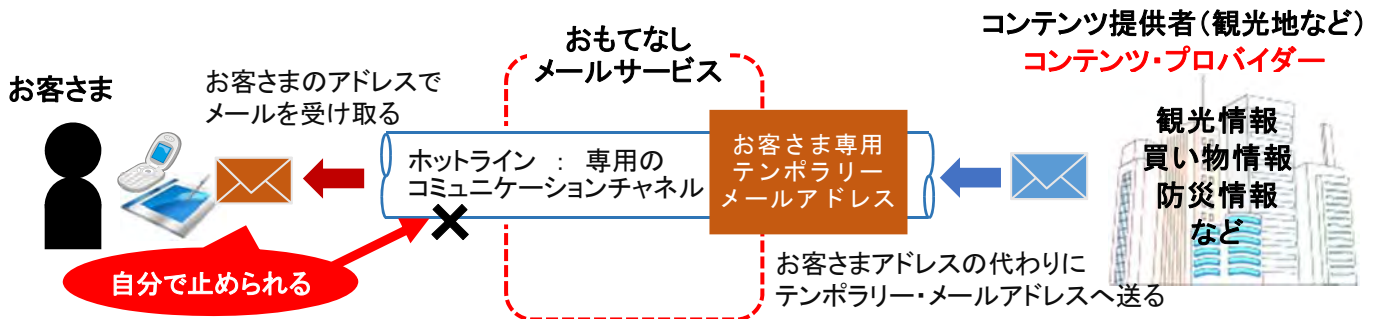
4. コンテンツ・プロバイダー(コンテンツ配信者)の情報漏えい対策

- ① テンポラリー・メールアドレスの利用は、お客さまメールアドレスの情報漏えい対策となります。コンテンツ配信者は自身の組織の中に、お客さまのメールアドレスを持ち込まないので、メールアドレスが漏えいする心配はありません。
- ② テンポラリー・メールアドレスは、コンテンツ配信者専用のメールアドレスです。送信が許可されたメールアドレスからだけ、テンポラリー・メールアドレス宛のメール送信が受け付けられます。あらかじめ送信者を組織内に限定しておけば、仮にテンポラリー・メールアドレスが組織外へ流出する事故が発生したとしても、組織外からはメールを送ることはできない為、お客さまへ迷惑をかけることはなく、情報漏えい対策に強力な効果を発揮します。

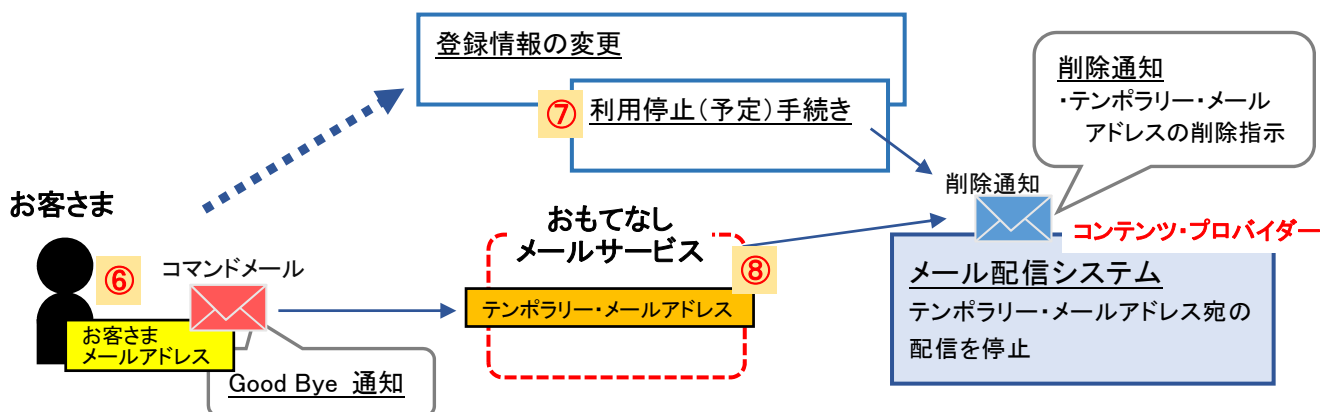
5. おもてなしメールサービスへの登録～コンテンツメール配信



6. テンポラリー・メールアドレスを使った コンテンツ配信のイメージ



7. コンテンツの配信を止める



おもてなしメールサービスの利用分野

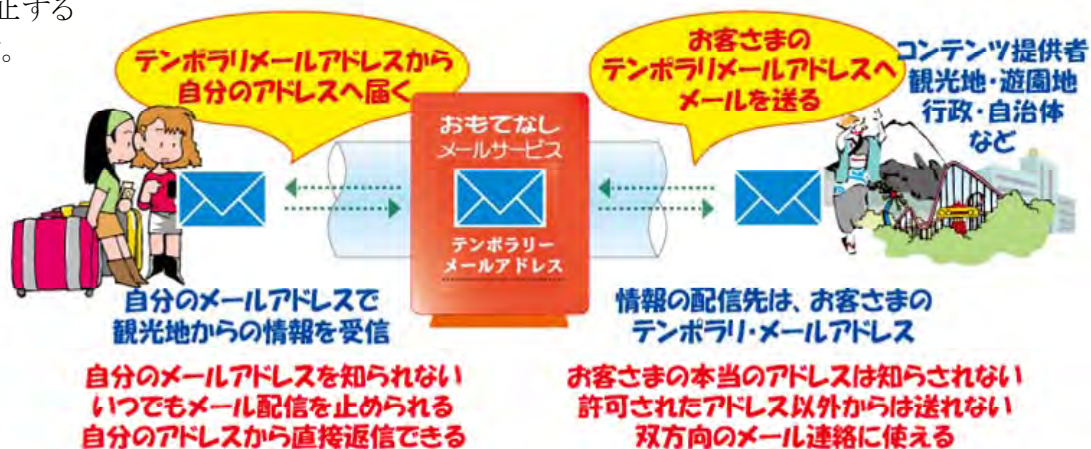
1. 海外からのお客さまが多く訪れる観光地からの情報配信

お客さまは、観光地を訪れる前から観光地のホームページをアクセスして、情報を収集します。このとき、「おもてなしメールサービス」が用意されていることで、お客さま自身のメールアドレスの代わりに「テンポラリー・メールアドレス」を使って登録することができます。

訪問中も「おもてなしメールサービス」によって自身のメールアドレスへ様々な情報が届けられます。

また、外国人向けに翻訳された防災情報や震災・火山情報のほか、旅行中の安全・安心につながる行政サービスも併せて配信することなどにも活用できます。

旅行を終えたお客さまは、「おもてなしメールサービス」へ Good Bye と通知をすることで、全てのメール配信が止まります。期限を決めた旅行であれば、サービスの停止をスケジュールしておくことで、自動的にメール配信を停止することも可能です。

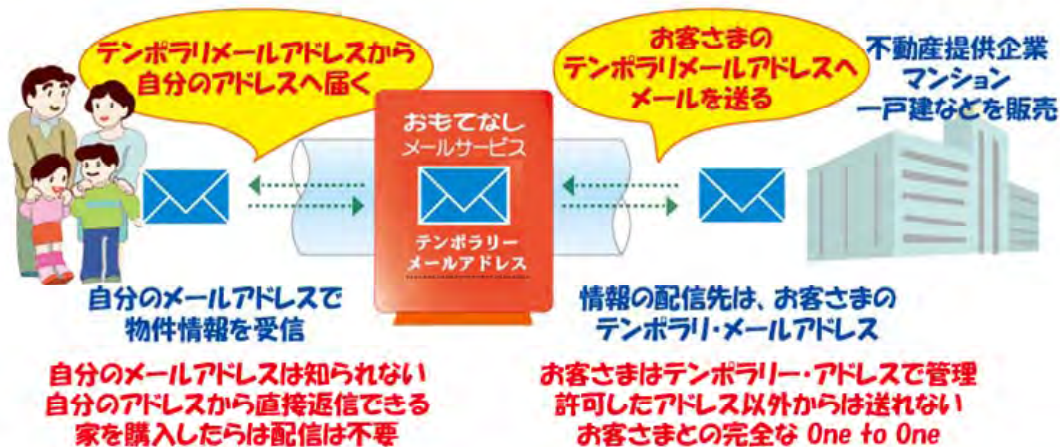


2. 不動産購入希望者向けの情報配信

マンションや住宅の購入を検討しているお客さまに対して、不動産事業者がメールを使って情報を提供するケースでは、「おもてなしメールサービス」はお客さまを獲得する効果の高い営業ツールとなります。

不動産事業者へは、お客さまのメールアドレスが通知されていないので、不動産購入後にテンポラリー・メールアドレスを削除して情報配信サービスを停止することで、以後、不動産事業者からのメール配信は一切発生しません。自分で住む物件を探している購入希望者にとって、物件の品定めをしている間は不動産事業者からの情報が必要ですが、住まいの購入を済ませたお客さまにとっては、購入しなかった不動産事業者からの情報配信は不要になります。

「おもてなしメールサービス」は、このようなケースに於いても、利用価値の高いサービスになります。



3. 求職者と求人企業との連絡手段

就職活動に於いても、求職者が企業に対してメールアドレスを登録して連絡を取り合うことが一般的になっています。

求職者は就職先が決まってしまうと、メール登録をした多くの企業の人事担当者との連絡を取る必要がなくなります。企業も求人だけの為に、求職者個人のメールアドレスを収集・管理しなければならず、情報漏えい対策が万全であったとしても、標的型メール攻撃など防御することが困難な事故の危険にさらされてしまいます。

このような求人業務に於いても、「おもてなしメールサービス」を利用する事で、求職者個人のメールアドレスを収集することがなく、また、求職者自身によって求職先企業へエントリーをしたメールアドレスを無効化できるということは、大いに利用価値の高いサービスになります。



4. メールの授受に於いて、期限を切って利用する業務に最適

短期に結論を出して以降継続しないようなサービス(相談、サポート、問い合わせなど)や、目的を果たしてしまっ後はやり取りの必要のない業務(前述の不動産購入者、求職者など)での活用が見込まれます。永続的でなく、一時的に提供するサービスのコミュニケーション手段として、「おもてなしメールサービス」は最適な選択肢です。